

UVヘキサゴンタープ 取扱説明書 使用上の注意および禁止事項

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をお読みください。また、レジャー、キャンプ先での不測の事態に備えて、ご出発前に必ず予行練習をしてください。なお、この取扱説明書は組立て後も捨てずに、大切に保管しておいてください。

保管・点検・お手入れ

	●本体のお手入れは柔らかい布などで拭いてください。著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。		●タープの寿命は取り扱い方法によって変わってきます。夏など紫外線の強い時期に設置したまま放置すると生地が傷み、寿命が短くなります。また、濡れたままや、湿気を帯びた状態で保管したり、バッテリー液、ジュース等の酸や腐食性の溶液、および殺虫剤、ヘアスプレー等を生地にかけると寿命は短くなります。
--	---	--	--

組立上の注意

	●組立ては平らな所でおこなってください。		●大人4人での設置が基本ですが、最低でも大人2人以上でおこなってください。その際は特に設置の要領にご注意ください。
	●ガイドロープはしっかりと張るように取り付けることで、タープへの風の抵抗を軽減してくれます。		●ペグは設置場所の状況に応じた市販のものを購入して使っていただくことをおすすめします。

注意

この警告を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う事故、および物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

	●ご使用前に必ず家で一度、試し張りをして付属品の不足、縫製不良がないかチェックしてください。		●キャンプサイトは平地、乾いた地面、水はけのよい場所、日当たりのよい場所、風の影響の少ない場所を選んでください。
	●設置前に地面を整地し、小石などの凹凸をなくしてください。		●タープの生地は簡易防水加工を施していますが、基本的には日よけ用としてお使いください。
	●このタープは一般キャンプ用に規格されています。山岳用、または常設用としてのご使用はお避けください。また、台風・集中豪雨・暴風時にはご使用を中止し安全な場所へ避難してください。		●天災時の不可抗力やお客様のお取扱以上の不注意、不当な修理・改造による故障、破損等は保証いたしかねます。
	●タープの近くでの焚き火などの火を扱う場合には、タープに燃え移らないよう十分注意した位置をお願いいたします。		●タープの防水性は徐々に低下します。また、市販の防水スプレーなどで防水加工を施してください。縫製部分から水が侵入する場合がありますが、市販のナイロン生地用の目止め剤を使用してください。
	●ポールを投げ投げたり、ぶつけたりして傷つけないでください。ポールの破損の原因になります。また、強風時によりタープが変形して一定箇所に負荷がかかりすぎた場合は、ポールに曲がり癖が付いたり、破損することがあります。		●ご使用後のタープは日陰干しでよく乾かし、完全に乾いてから部品の数量をよく確かめて収納、保管してください。濡れた状態で放置されると、生地の色が他の部分へ色移りすることがありますのでご注意ください。
	●タープの破損を発見したらすぐに補修してください。その際は市販のテント(タープ)用リペアキットを代用して補修してください。		

警告

この警告を無視して誤った使い方をすると、人が死亡、または、重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

	<p>風が強い日の使用は危険ですので、絶対にしないでください。</p> <p>●本製品は日よけなどを目的とした商品であり、雨よけではありません。雨などが降ってきた場合のご使用も絶対にしないでください。</p>	
	●タープの上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。落ちると危険です。	<p>Check</p> <p>●使用時は組立て完了後、安全を確かめてからご使用ください。</p>
	●タープ内での火器の使用は危険ですので絶対に使用しないでください。	<p>⚠ 火気厳禁</p>

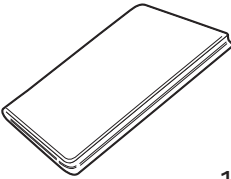
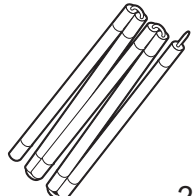
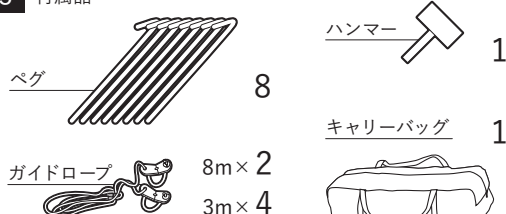
お手入れの方法

本製品は耐久性には万全を期していますが、お客様のお手入れによって道具の寿命は変わってきます。また、大きなキャンプ道具は家でメンテナンスするよりも現地の方が、やり易い場合があります。基本的な以下のお手入れをおこなってください。

	1)ポールに泥や、海辺の塩分を含んだ砂や土がついたままになっているとさびの原因になります。ブラシなどできれいに磨き落としてください。	<p>Check</p> <p>2)ポールは設置中、常に大きな力を受けています。ポールを磨く際、曲がりや疲労したか所がないかチェックしてください。</p>
	3)防水スプレーは、タープのメンテナンスには欠かせないものですが、有害な成分が含まれているので使用時は必ず風通しのよい屋外でおこなってください。	

部品明細

■まず、シートなどすべての部品を取り出し部品が全て揃っていることを確認してください。

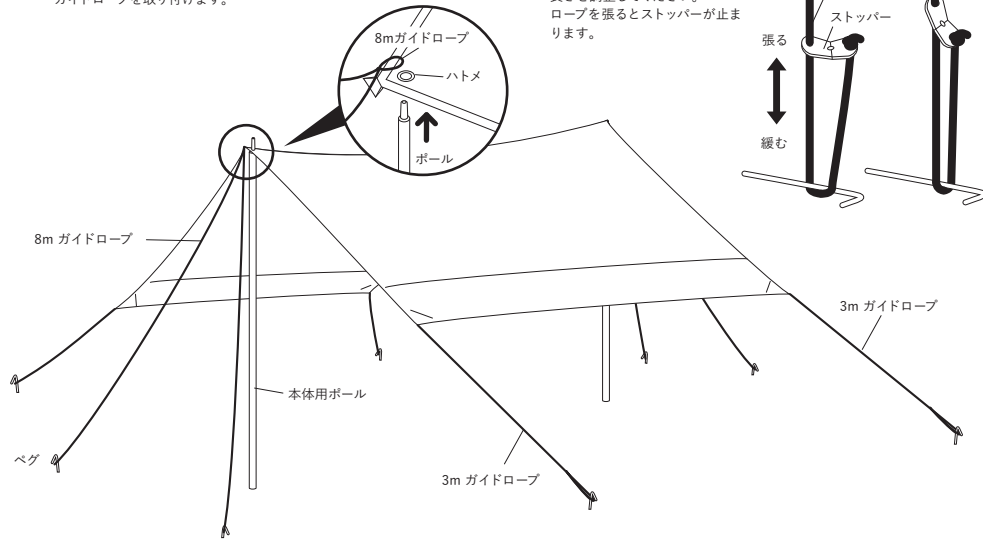
<p>1 本体シート</p> 	<p>2 本体用ポール</p> 	<p>3 付属品</p> <p>ペグ 8</p> <p>ガイドロープ 8m×2 3m×4</p> <p>ハンマー 1</p> <p>キャリーバッグ 1</p> 
--	---	---

※付属品は、設置場所の状況に応じて市販のものを購入して使っていただくことをおすすめします。

● 組立て方

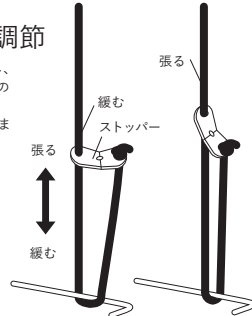
1 ポールの取付け

まず本体シートを広げ、ポールの先の突起部分をシートにあるハトメに差し込み、その上にガイドロープを取り付けます。



ガイドロープの調節

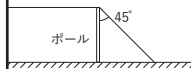
ストッパーを図のように横にし、ストッパーを上下させてロープの長さを調整してください。ロープを張るとストッパーが止まります。



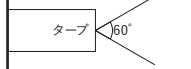
2 ロープの取付け

本体用ポール上部の突起部分にロープを取り付け、下図の要領でベグを打ち込んで固定してください。

●横から見た図



●横から見た図



固い地面で無理な打ち込みをすると変型や破損する場合があります。その必要がある際は、固い地面にも耐える市販のベグの購入をお勧めします。

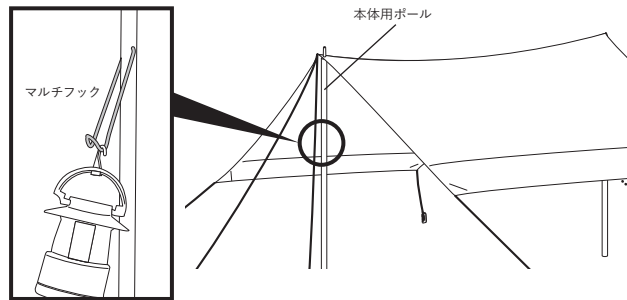
3 本体の立ち上げ

①②の要領でもう一方のポールも取り付けてください。この時、本体シートがたるまないようにポールとポールの間隔をしっかりとってください。

●便利なマルチフック付き

本体用ポールには、マルチフックが付いており、ランタンや、小物等掛けておくことができます。

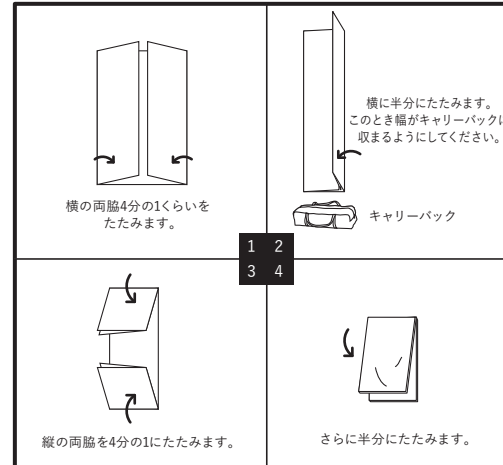
簡易フックのため、重たいものを掛けたりしないでください。ケガや破損する恐れがあり、大変危険です。



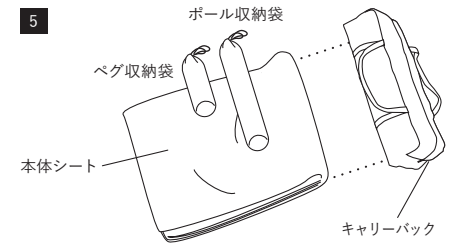
収納参考例

下図のように最終的に横幅がキャリーバックの長さに収まるように微調整してください。

●本体シートのたたみ方



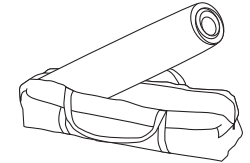
5



本体シートを巻く際は空気をしっかりと抜くようにして巻くとキャリーバックに収納しやすくなります。

6

最後にこの状態でキャリーバックに収納してください。



※商品の外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。本製品につきましてご不明な点がございましたらご連絡ください。

発売元/株式会社山善 キャンパーズコレクション係
YAMAZEN お客様相談窓口 フリーダイヤル ☎0120-069-060 [AM9:00~PM5:30 土・日・祝を除く]

その他の商品は右記のホームページをご覧ください。 www.cc1996.jp
商品のお問い合わせはホームページ「Q&Aコーナー」からも受け付けております。